

# 酪農宮崎

令和7年12月31日 印刷  
令和8年 1月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾  
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1  
宮崎県農業協同組合  
電話(0985)31-2100  
<http://www.kei.mz-ja.or.jp/>  
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931  
宮崎紙工印刷株式会社  
電話(代)78-2324

2026年1月

NO.650

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!  
**毎月1日は牛乳の日!**



みやざきデリシャスマーケット2025

## 1月号目次

年頭の挨拶 .....	1~3
情勢報告 .....	4
配合飼料価格改定 .....	5
みやざきデリシャスマーケット2025 .....	6
農大通信vol.16 .....	7
ナンノ教授のヒトリゴト .....	8
宮崎県酪連30年史 .....	9
全日本ホルスタイン共進会慰労会 .....	10
第22回オール九州B&Wショウについて .....	11

広告 .....	12~17
全酪広告 .....	18
全農広告 .....	裏表紙



MILK UP!  
プロジェクト



JAみやざきHP



# 新年を迎えて

JAみやざき 代表理事組合長 栗原 俊朗

新年明けましておめでとうございます。

酪農家の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、記録的な高温の影響などにより農畜産物の生育や品質に大きな影響が見られ、資材価格や燃料費の高止まりも続くなど、農業を取り巻く環境にさまざまな動きのあった一年でした。こうした一年を振り返り、私たちが改めて日本の農業の重要性と未来への思いを深める機会となりました。

そのような中、一昨年の県内13JAの統合に続き、昨年3月には3連合会(中央会、経済連、信連)と3畜連(児湯、西諸県、東臼杵)が一つとなり、新たな「JAみやざき」が誕生しました。組合員と地域に根ざした新体制が始動し、さらなる発展へ向けた大きな節目となりました。

今年は県全体での営農支援の充実、販売力の強化や生産基盤の整備など、合併のメリットを組合員により実感していただける取り組みを進めてまいります。

具体的には物価高騰対策や消費拡大への対応、効率的な資材調達、選果場の再編・改修と設備の高度化、そして宮崎ブランドの情報発信に力を入れ、組合員の所得向上につなげてまいります。地域の声にしっかり耳を傾け、「身近で頼れるJA」として地域に寄り添い続けます。

酪農においては、依然として生産資材高騰等により厳しい情勢が続いており、本県酪農基盤の衰退が危惧されます。引き続き、生産基盤維持・確保のため、生産性向上対策、酪政活動、酪農理解醸成活動、牛乳・乳製品の消費拡大運動を積極的に取組み、農家所得向上に努めてまいります。

一方で次代を担う若手生産者や新規就農者の育成は、依然として重要な課題です。就農相談や研修の充実、補助事業の活用を含む支援体制を整え、行政とも連携しながら、日本の食料基地を支える人材の確保に取り組んでまいります。

農畜産物の生産コストが上昇する中、消費者の皆さまには「適正価格」へのご理解と、私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産するという「国消国産」の推進を通じて、生産者を支えていただければ幸いです。今年の干支は「午」です。古くから農に寄り添ってきたこの干支にあやかり、宮崎の大地に確かな歩みを刻みながら、安心してお選びいただける農畜産物をお届けするため、JAみやざきはこれからも誠実な取組を重ねてまいります。

今後ともどうぞご支援をよろしくお願いいたします。



# 新年を迎えて

宮崎県知事 河野 俊嗣

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

県民の皆様には、日頃から県政に対する温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

去年は、スポーツをはじめとする様々な分野において、本県の次なる成長に向けた基盤づくりが力強く前進する一年となりました。

都城志布志道路の全線開通や東九州自動車道「宮崎PA～清武IC」の4車線化をはじめ、細島港16号岸壁の完成や国際定期便「宮崎～台北線」の増便など、陸海空の交通ネットワークが強化されました。本県経済の更なる活性化や国土強靱化、国内外との交流促進につながる基盤整備が着実に進んでいます。

一方、全国で加速する少子高齢化・人口減少をはじめ、長引く物価高や国際情勢の不確実性の高まりなど、本県を取り巻く環境は厳しさを増しています。

来年には、本県人口は100万人を割り込み、現在の人口構造を踏まえると、その後も長期にわたって減少が続く見通しです。

県としては、こうした現状を正面から受け止め、引き続き少子化対策に取り組むとともに、今後は縮小する人口規模への「適応」という新たな視点を取り入れ、日常生活に不可欠な医療福祉・交通物流の維持充実や企業の生産性向上・産業人財の確保等を強化し、人口減少社会に適応する持続可能なくらし・産業づくりを進めてまいります。

令和8年度は、「県総合計画アクションプラン」及び「3つの日本一挑戦プロジェクト(子ども・若者、グリーン成長、スポーツ観光)」が最終年度を迎えます。

このうち、「グリーン成長プロジェクト」においては、より生産性が高く、強じんて持続可能なみやざき農水産業の実現に向けて、飼料自給率の向上や化学肥料の低減等を通じた持続性の高い農水産業への転換をはじめ、スマート技術の高度化・現場実装等の新たなイノベーションによる生産性の向上に取り組んでいるところです。

目標達成に向けて全力で取り組むとともに、2033年の「置県150年」という大きな節目を見据え、本県の新たな発展につながる取組にも着手してまいります。

近年の酪農を取り巻く環境に目を向けますと、飼料価格の高止まりをはじめとした生産コストの高騰に加え、労働力不足、気候変動による異常気象、さらには、物価高の影響による消費の低迷など、依然として大変厳しい状況が続いております。

このような状況も踏まえ、県では、引き続き、酪農家や関係者の皆様と一体となって、生乳生産基盤の強化、生産性向上や規模拡大・分業化に向けた取組を支援するとともに、牛乳・乳製品の食育活動等の支援を通じ、消費拡大や酪農への理解醸成を推進してまいります。

御案内のとおり、昨年10月には、第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会が10年ぶりに開催されました。

出品者の皆様におかれましては、5年前に本県での開催が予定されながらも、コロナ禍により中止となった前回大会の悔しさを乗り越え、並々ならぬ努力を重ねてこの晴れの舞台に臨まれたことに、心から敬意を表しますとともに、皆様の挑戦と、本県の酪農技術の高さを示してくださったことに、深く感謝申し上げます。

皆様の御活躍は、県内の酪農家にとって力強いエールとなっただけでなく、本県の将来の酪農を支えていく若い世代にとっても、大きな目標となり、希望を与えてくれたと考えております。

県としましては、今後も酪農家の皆様をはじめ関係者の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、本県酪農の更なる発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続き、一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

本年が、酪農家の皆様をはじめ関係者の皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。





## 新年を迎えて

JAみやざき 代表理事副組合長  
宮崎県牛乳普及協会 会長理事

平 島 善 範

新年 おめでとうございます。

酪農家の皆様方におかれましては、良き新年をお迎  
えのこととお慶び申し上げます。

日頃より本組合の事業につきましては、特段のご支  
援ご協力を賜りますことを、この場をおかりして厚く御  
礼申し上げます。

昨年は、6月22日に新燃岳が7年ぶりに噴火しまし  
た。降灰被害に見舞われ、農産物等が甚大なる被害を  
受けました。被害にあわれた皆様に心からお見舞い申  
し上げます。

さて、昨年の10月25～26日で第16回全日本ホ  
ルスタイン共進会が北海道安平町で開催されました。  
宮崎県の代表として7頭出品しましたが、北海道が出  
品枠の半分を占めるなか、素晴らしい成績を収める事  
ができました。これもひとえに出品者、ご家族、関係機  
関の皆様のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

酪農情勢におきましては、依然として厳しい状況が  
続いております。昨年8月から飲用向け乳価が値上げ  
されました。一方では、年々飲用牛乳の消費が減少して  
おります。牛乳だけではなく食料品他全般が値上げと  
なっており家計面で厳しい情勢ではありますが、酪農

乳業への興味関心を高めてもらおうと6月の牛乳月間  
にはイオンモール宮崎で「みやざきミルクフェア2025」  
を開催、模型牛「ミル子」の搾乳体験やバター作り体  
験等を実施し、多くの方に来場して頂きました。また、  
12月には「Miyazaki Delicious Market」に出店し、  
牛乳の販売を行いました。併せて宮崎県酪農協議会役  
員による理解醸成活動も実施し、一般消費者へ良い  
PRができたのではないかと感じております。

牛乳普及協会では、牛乳を購入する世代に向けて  
「牛乳・乳製品レシピ」や「酪農」について学べるリーフ  
レットの配布や県内の小学校を対象に牧場や乳業  
メーカーへの総合学習に助成を行っております。また、  
義務教育終了後の牛乳消費低迷への打開策として行  
政・乳業社と連携し高校生への牛乳無償提供の取組  
みを引き続き行いました。今後も牛乳の消費が将来に  
むけて安定的に推移していくよう酪農理解醸成や牛  
乳等の消費拡大活動を行って参ります。

新年にあたり安定した酪農経営を目指し、役職員一  
丸となり酪農家の負託に応えていくよう努力する決意  
でございます。なお一層の、ご理解ご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げまして、新年のあいさつといたします。

# 酪農情勢報告

## 1. 生乳生産動向

令和7年12月15日現在

指定団体	11月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	314,798	99.7	2,672,850	101.8
東北	35,011	96.7	299,528	100.2
関東	81,102	99.8	671,860	100.3
北陸	4,891	97.2	41,667	98.1
東海	22,687	100.5	187,152	99.4
近畿	10,590	98.2	88,842	98.5
中国	22,724	98.5	187,662	99.4
四国	8,122	99.9	65,748	100.2
九州	42,256	99.9	349,084	98.9
(内、宮崎)	5,147	98.0	43,461	98.8
都府県	227,382	99.1	1,891,542	99.7
合計	542,181	99.4	4,564,392	100.9

## 2. 販売状況

令和7年12月15日現在

用途	区分	11月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	234,382	95.9	1,966,803	98.8
	九州	30,729	101.5	247,366	98.8
はっ酵乳等	全国	32,717	95.6	282,722	97.9
	九州	6,721	94.2	57,568	96.6
特定乳製品	全国	131,285	106.8	1,167,808	106.3
	九州	2,227	96.5	26,396	104.8
生クリーム	全国	107,771	97.4	863,197	99.8
	九州	2,484	99.6	17,068	100.2
チーズ	全国	36,026	108.8	283,860	101.9
	九州	94	100.1	687	92.1
合計	全国	542,181	99.4	4,564,390	100.9
	九州	42,255	99.9	349,085	98.9

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

## 3. 生乳出荷量別生産者戸数 11月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	5 戸
80 t 以上 ～ 100 t 未満	1 戸
60 t 以上 ～ 80 t 未満	7 戸
40 t 以上 ～ 60 t 未満	20 戸
20 t 以上 ～ 40 t 未満	59 戸
10 t 以上 ～ 20 t 未満	51 戸
10 t 未満	15 戸
合 計	158 戸
最高出荷量	475t/月
平均出荷量	33t/月

## 4. トピックス

新年明けましておめでとうございます。

酪農家・関係機関の皆様におかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。今年も更なるご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、様々な自然災害による被害、あらゆる物品の物価上昇や米不足による騒動、熊出没多発による被害等がありました。特に自然災害では、昨年6月の鹿児島県トカラ列島沖地震、新燃岳の噴火、8月に鹿児島県・熊本県の大雨災害、8～10月の台風発生による被害、11月には、岩手県三陸沖・熊本県阿蘇地方の地震、12月に青森県東方沖地震が発生しております。今年も防災意識を高めることが大切であり、防災対策として防災グッズや災害時に必要な備蓄品の備えがあり、一般的には照明器具・情報収集ツール・衛生用品・季節用品・医薬品・食料品・飲料水が挙げられます。食料・飲料ではレトルト食品や缶詰め、ペットボトル飲料等の長期保存が可能であり、それらを多めに買い置きし、日常的に賞味期限が近づいたら使用し、その分を買い足す方法である「ローリングストック」が効率的です。災害時には水分と栄養補給が重要であると考えられ、これに適しているのが常温での長期保存(約90日間)が可能であるLL(ロングライフ)牛乳が有効です。

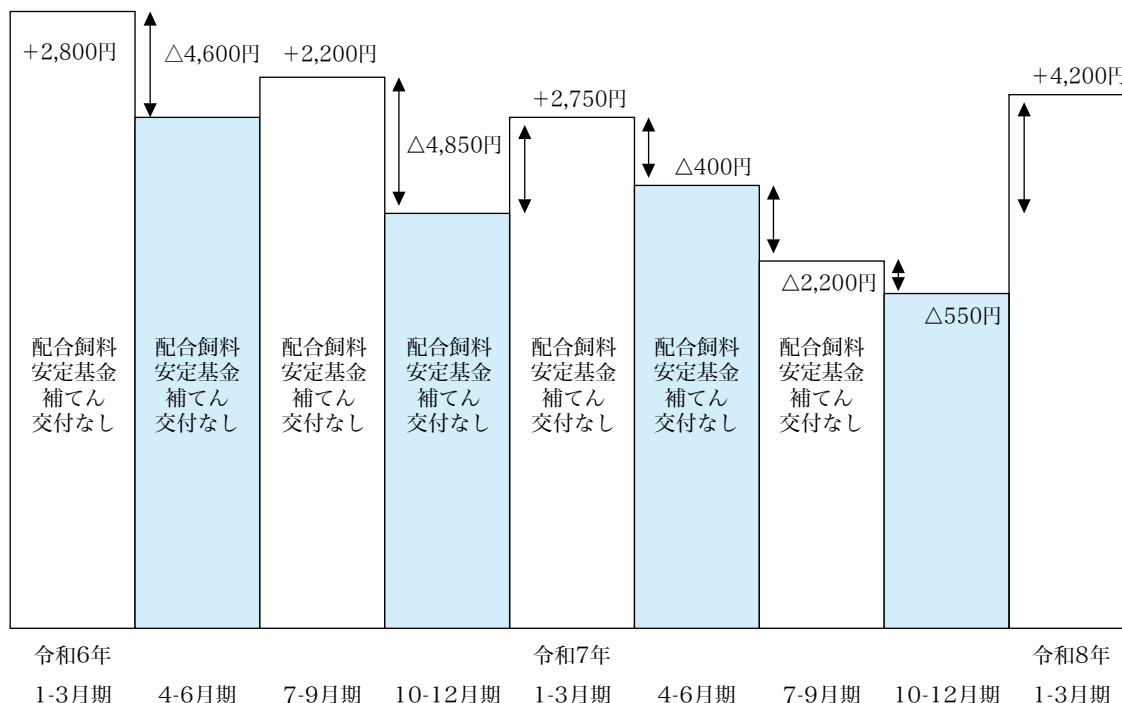
酪農関係では、指定団体による乳価交渉により令和4年11月より段階的に乳価の値上げがなされ、昨年の6月からは加工向け全用途で3円/kg値上げで生クリーム・バター向けは更に7円/kg加算となり、8月からは飲用向け・発酵乳向けで4円/kg値上げされ、一時期よりは緩和されておりますが、生産資材等の高止まりにより、依然として厳しい状況が続いております。このような中、昨年12月19日に宮崎県酪農協会の石川幸保会長より宮崎県に対し「重点支援地方創生臨時交付金」における酪農関連対策の措置に係る要請を以下のとおり行いました。①夏場の生乳生産量確保に関する対策、②牛乳の消費拡大に関する取組への支援、③自給粗飼料の生産基盤強化に関する支援の措置です。今年の干支は午(うま)年ですので、馬の如く力強く突き進み、飛躍の年となるように酪農事業に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年を迎えるにあたり、乳質事故にご注意いただくとともに家畜防疫の徹底強化に努めていただきますようお願い申し上げます。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

## 配合飼料価格改定の推移について(令和8年1~3月期)



### 1. 主要因

①とうもろこしのシカゴ定期は、米国産地で生育に適した天候が続いたことなどから8月中旬には380セント/ブッシェル台で推移していたが、生育後期の高温乾燥による単収の低下懸念や、米国産とうもろこしの輸出需要が好調であることなどから上昇し、現在は440セント/ブッシェル台で推移している。

今後は、米国産の輸出需要の動向や、南米産の作付けや生育状況などに左右される相場展開が見込まれる。

②大豆粕のシカゴ定期は、8月中旬には310ドル/トン台で推移していたが、米中貿易協議が難航する中、米国産大豆の輸出需要が低迷するとの見方などから9月下旬には290ドル/トン台まで下落した。その後、10月上旬には中国による米国産大豆の購買に向けた貿易協議が進展するとの期待などから相場は反転し、さらに10月30日の米中首脳会談において実際に米国産大豆の購買合意が発表されたことなどから、現在は340ドル/トン前後で推移している。

国内大豆粕価格は、シカゴ定期の上昇や為替円安の影響などから値上がりが見込まれる。

### 2. 海上運賃

米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、8月中旬には53ドル/トン前後で推移していたが、航海日数の長い中国向けの南米産大豆の輸出が継続し船腹需給が引き締まったことなどから、9月中旬には一時60ドル/トン台まで上昇した。その後、中国向け南米産大豆の輸送需要が一服したことなどから相場は下落し、現在は54ドル/トン前後で推移している。

今後は、原油相場は軟調であるものの、南米産大豆の輸出が本格化することから、海上運賃は底堅く推移するものと見込まれる。

**全国全畜種総平均(全農系)トン当たり4,200円値上げとし、銘柄別に決定する。**



# みやざきデリシャスマーケット2025 開催

JAみやざき 酪農課 黒木 久美子

JAみやざきは、12月13日(土)14日(日)の2日間、宮崎市のイオンモール宮崎において「食で宮崎を元気に!」と開催された「みやざきデリシャスマーケット2025」に出店し、宮崎県産牛乳の特別価格PR販売及び宮崎県酪農協議会役員による理解醸成活動を実施しました。  
今後も理解醸成や消費拡大に繋がるようなイベントを行っていききたいと思います。

## 宮崎県産牛乳の特別価格販売



## 理解醸成活動



▲宮崎県酪農協議会役員による理解醸成活動も両日行われました。  
LL牛乳とチラシの配布を行い、一般消費者に牛乳の消費拡大を呼びかけました。



## 農大通信 vol.16 ～最後の校外学習～

新年おめでとうございます。酪農宮崎をご覧になっている皆様におかれましては良いお正月をお過ごしになられたでしょうか。こちらの農大通信では、今年も定期的に農大情報を皆様にお伝えしてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

年が明けるといよいよ2年生の卒業が目の前に迫ってきます。毎年のことですが、農業大学校は2年間のカリキュラムのため、つい先日入学したばかりだと思っていた学生たちが、本当にあっという間に卒業してしまうので、時間の早さに驚かされるばかりです。



神戸中央卸売市場の視察

卒業目前の2年生たちは卒業論文の執筆に慌ただしい日々を過ごしていますが、無事に書き終えますと最後のお楽しみ、「国内外農業研修」が待っています。国内外の農業・畜産施設を視察する学外研修となっており、年によって行き先が変わります。昨今の社会情勢を受けて、ここ数年は国内の視察研修が続いており、今年の研修も関西・関東を視察するコースです。関西に向かう際に利用するのはもちろん宮崎カーフェリー！2022年に新たに建造された2隻のフェリー「たかちほ」と「ろっこう」は非常に快適な船旅を楽しめます。また、ただ乗って移動するだけではありません。船内での勉強会を通じてカーフェリーが産地から消費地への商品の輸送にどれほど重要な役割を担っているかについて、その輸

送の仕組みを学びます。



肥育農場の視察

一晩かけて到着した関西の地では、卸売市場や肥育牛の生産農場など、普段の学生生活では触れる機会の少ない貴重な場所を見学することができます。特に、滋賀県の肥育農場は、宮崎県産の子牛を導入しているつながりから特別に視察を受け入れていただいております。まさに縁がつなぐ研修となっています。写真は過去の研修の様子ですが、宮崎とは異なる飼養管理方法に学生達も興味津々で、多くの質問が出ておりました。



豪華な食事にありつけるかも・・・

現地での食事研修の楽しみの1つです。農大生として流通を学ぶ上で欠かせないことは、生産された農畜産物の味や、消費地でどのように提供されているかを知ることです。したがって研修中の食事の機会を通じて、学生は多くの学びを得ています。

今年の研修でも、多くの学びによって学生たちが身も心も大きく成長し、本校を巣立っていくことを期待しています。



# 農学部 ナンノ教授のひとりごと

## 乳と信仰

南野 快

寺院で除夜の鐘をついた翌日には神社で初詣するのが日本人としての習わしであり、宗派や神仏の違いを気にすることはあまりなく、大らかなのがこの国の人々の特徴である。ただ、寺院と神社は信仰の対象やその祀り方が根本的に異なる。寺院では悟りを開いた「仏」や菩薩を仏像として祀っているのに対し、神社は自然や祖霊、特定の現象に宿る「神」を祀っている。それぞれ崇拝する対象が異なっているなら、一人の人間が両方の場所を参拝することは矛盾しないのである。

神道の神は多種多様で、自然現象や歴史上の人物など森羅万象に宿る。では、乳に纏わる神社はどこにあるのかと探してみると、やはり神話のふるさと宮崎には祠(ほくら)がある。M大学木花キャンパスから車で約15分、清武町今泉には「乳岩」と呼ばれる球状の岩が祀られており、岩から滴り落ちる石清水(岩の間から湧き出る水)が母乳のように見えることから、安産、子育て、母親の健康にご利益があるとされている。また、鶴戸神宮の「お乳岩」もよく知られている。岩窟の壁の一部が突き出ていて、母の胸のような形にも見える。この「お乳岩」は、先端から石清水が滴り落ちるため常に湿っている。鶴戸神社の主祭神であるウガヤフキアエズの神話では、海の神の娘である母親(トヨタマヒメノミコト)が波の下にある海宮へと戻ることになった際に、子への愛情と健やかな成長を願い、両乳房を岩に貼り付けたとされる。その息子は「お乳岩」から出る「乳」で育ち、日本の初代天皇である神武天皇の父になったとの言い伝えがある。

ちなみに、岐阜県にも「乳岩神社」があり、やはりここでも乳房型の岩から落ちる水滴が空腹の赤ん坊を救ったという伝説が残っている。また、愛知県にも「乳岩・乳岩峡」という洞窟に乳房状の鍾乳石を作っており、乳岩の由来となっているそう。乳

岩を煎じて飲むとお乳の出がよくなると信じられて昔の人々はその岩を削って飲んでいたらしく、そのためにかなり削れてしまったという話である。

では、乳のお寺はあるのかというと、それがあるのである。愛知県犬山市の龍音寺は「間々観音(ままかんのん)」という名で通っており、乳房の形をした奉納品が多く、授乳、安産、子育てなどのご利益があるとされる。

かつて粉ミルクがない時代、母乳が出ないために藁にも縋る思いでお参りに来ていた母親も少なからずいたことだろう。いずれにしても“母”は偉い。そして“乳”も偉大だ。今年もよろしく願いいたします。



# 宮崎県酪連30年史

平成9年7月発刊

## 第1章 酪農の創成から成熟まで(酪連設立までの酪農の進展)

昭和40年12月15日、宮崎県酪農業協同組合連合会は設立された。

更に、翌年4月1日、加工原料乳生産者補給金等暫定措置法の制定施工に伴い、指定生乳生産者団体として発足した。

爾来30年間、宮崎県の酪農生産者の拠点として、その輝かしい成果を刻みつつ、現在に至っている。

ここ 30年のはの足跡を振り返り、数々の栄光の業績を記述するに当たり、時計の針を大昔に戻しながら、宮崎の創成期の酪農事情について触れてみることにする。(平成7年12月時点)

### 1. わが国の酪農のはじまり

わが国の牛乳の史実は、飛鳥時代、光徳天皇の大化元年(645年)、朝鮮から渡来した福常という人が、牛乳を搾って天皇に献上したことにはじまる。

当時の牛は役牛で乳量も少なく、飲用としてではなく、薬用としてすすめたものと思われる。福常は、後世「乳祖」と呼ばれ、乳製品の製造も手掛け、酪(ヨーグルト類似のもの)蘇(濃縮クリーム～バター様のもの)の製法を確立した。

この間、朝廷は牛を奨励し牛や牛乳を司る役所を新設し、ここでの製法は、奈良時代を経て平安時代まで約600年続いた。租税として蘇を上納させたので、乳製品を食べる特権は朝廷だけでなく、貴族や富裕階級まで広がり、薬用や租税用のほかに食用としても国民の一部に用いられるようになった。

大化の改新後は、宮内省に典薬寮が設けられ、乳牛院という役所が置かれた。

当時の搾乳量は、1頭当たり 5.5合(約0.83kg)、1日当たりの抹料(飼料)の給与量は、米2升(2.8kg)大豆2升(2.7kg)であったと文献にある。乾草は年料として山城国(京都)、丹波(兵庫、京都)から納められた。

また、典薬寮は摂津国(兵庫)に味原の牧を置き、ここからの更新用の牛を京都の乳牛院に送ったということから、わが国の国内最初の「乳牛牧場」といえる。

しかし、朝廷で使う乳製品は乳牛院だけでは不足したので、諸国に命じて租税として蘇を貢納させた。

醍醐天皇の延喜5年(905年)の頃には、牛の飼育についての規定や牛乳から蘇を作る製法、基準を設定し、これに基づきそれぞれの国の実情に応じて数量を割り当てた。当時、蘇を貢納する国は、全国45か国に及び但馬(兵庫)、周防(山口)、長門(山口)等が主産県であった。これ等の蘇の貢納国に日向国が入っていないのは、やはり京都まで遠いため腐敗しやすかったからではあるまいか。

# 第16回 全日本ホルスタイン共進会 慰労会

10月25～26日の2日間にかけ、北海道安平町にて行われた、『第16回全日本ホルスタイン共進会』の本県慰労会が開催された。

慰労会には出品者をはじめ、宮崎県酪農協議会役員や行政等関係機関42名が集い、大きな賑わいを見せた。



各出品者より、今大会の「達成感」や「悔しさ」、「次回に向けた改良」等を含めて挨拶を述べられた。その後各出品者に対して、共進会会長賞の表彰状授賞式が行われた。(代表して田中賢志郎様へ授与)



今回本県7頭の出品を行い、最上位グループである「優等賞」入りは惜しくも逃したものの、続く「1等賞」に3頭が入賞されるなど素晴らしい成績を収めた。  
今大会における本県出品者の皆様に対し、深く敬意を表します。



# 第22回オール九州ブラックアンドホワイトショウ

## 今春 熊本県にて開催!!

令和8年3月22日(日)に第22回オール九州ブラックアンドホワイトショウが下記の通り開催される。

### 【内 容】

日時	令和8年3月22日(日) 8:30～ (搬入:21日 13:00～17:00)
場所	熊本県家畜市場 (菊池郡大津町岩坂1485)
審査員	細野 淳氏 (アルタジャパン株式会社)
スケジュール	未經産牛(第1部～第6部) 8:30～10:30
	未經産牛最高位決定 10:30～10:45
	リード・マソコテスト・ジュニアショウ 10:45～11:20
	経産牛(第7部～第13部) 11:20～14:10
	GC決定審査・表彰 14:10～14:30
申込締切	令和8年1月30日(金) 必着

※2月に開催される九州ホルスタイン改良協議会役員会で要領の最終決定となる為、内容は変更される可能性があります。予めご了承ください。

※お申し込みは各同志会事務局へお問い合わせください。

### 【出品区分】

部 門	区 分	生年月日の範囲
第1部	未經産牛 12ヶ月未満 Jサイア	令和 7年 4月 1日 以降
第2部	10ヶ月以上12ヶ月未満	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 7年 5月31日まで
第3部	12ヶ月 # 15ヶ月 #	令和 7年 1月 1日 ～ 令和 7年 3月31日まで
第4部	15ヶ月 # 18ヶ月 #	令和 6年10月 1日 ～ 令和 6年12月31日まで
第5部	18ヶ月 # 21ヶ月 #	令和 6年 7月 1日 ～ 令和 6年 9月30日まで
第6部	21ヶ月 # 24ヶ月 #	令和 6年 4月 1日 ～ 令和 6年 6月30日まで
リードマンコンテスト ・ ジュニアショウ		
第7部	経産牛 36ヶ月未満(2歳クラス) Jサイア	令和 5年 4月 1日 以降
第8部	30ヶ月 # (2歳ジュニア)	令和 5年10月 1日 以降
第9部	30ヶ月以上36ヶ月未満(2歳シニア)	令和 5年 4月 1日 ～ 令和 5年 9月30日まで
第10部	36ヶ月 # 42ヶ月 # (3歳ジュニア)	令和 4年10月 1日 ～ 令和 5年 3月31日まで
第11部	42ヶ月 # 48ヶ月 # (3歳シニア)	令和 4年 4月 1日 ～ 令和 4年 9月30日まで

# 酪農用洗剤 ～エクリンシリーズ～

## エクリンベコちゃん

- ・国内生産の牛専用シャンプー
- ・出荷前や共進会前の洗浄に最適!!



入目: 2kg × 2

## エクリントオルクリーナー

- ・乳房用タオル専用洗剤
- ・首輪などの洗浄にも使える!!



入目: 5kg × 2



理工協産株式会社 福岡支店

佐賀県三養基郡基山町大字園部弥生が丘5008

TEL 0942-84-0710

# 謹賀新年

本年もどうぞ宜しく  
御願い申し上げます。

2026



ついにデビューA5 Next!!

※写真はA5



飼料ロボット「JUNO」



すばやく効率よく、糞尿を固液分離



CORNES AG.

Quality & Innovation

株式会社 コーンズ・エージー 南九州支店

宮崎県都城市都北町1651番1 TEL 0986-46-6690

事務所が都北町に移転致しました

## 動物用医薬品 乳房浸漬消毒剤

## ピュアディップ シリーズ

- ◎ 殺菌力の高いヨウ素系消毒剤です。
- ◎ 国内製造品です。
- ◎ 刺激臭が少なく安定性がよい製品です。
- ◎ 皮膚保護剤として、手にやさしいグリセリンを使用しています。

## ピュアディップ5



60L

180L

## 特長

プレディッピング・ポストディッピング兼用

ポストディッピングは、原液で使用する手間がかからないノン希釈タイプです。

使用時有効ヨウ素:5,000ppm

5倍希釈でプレディッピングに使用できます。

## ピュアディップ10AP



18L

60L

## 特長

ポストディッピング専用

粘着増強剤により、長い時間乳頭に付着させることで殺菌効果を高めました。

グリセリンの含量を増加し、保湿性を高めました。

殺菌力を高めました。使用時有効ヨウ素:10,000ppm

ノン希釈タイプで、そのまま使用できます。

## ピュアディップ20



5L

18L

## 特長

ポストディッピング専用

更に低コストな希釈タイプです。

使用時有効ヨウ素:4,000～5,000ppm

[販売元]



株式会社科学飼料研究所

〒104-0032東京都中央区八丁堀三丁目3番8号

[製造元]



サンケミファ株式会社

〒980-0021 仙台市青葉区中央3-3-3



# 謹賀新年



私たちは これからも  
安心・安全な集乳に努めて参ります



旧年中は格別のお引き立てを賜り  
厚く御礼申し上げます。  
本年も相変わらずご愛顧のほど  
お願い申し上げます。



創意工夫の物流パートナー

株式会社 JA物流みやざき

2026年 元旦

〒880-0032

宮崎県宮崎市霧島1丁目1番地1

代表取締役社長 坂 下 栄 次

代表取締役専務 原 謙 二  
社 員 一 同

## 日本の「食」

を支え、農業物流の  
トッパーナー  
となります

### 経営理念

わたしたち全農物流は、  
日本の農業の発展に貢献する企業であり続けます

- 物流改革に挑戦し、JAグループの明日を運びます
- 品質向上を図り、お客様に信頼されるパートナーをめざします
- 農業に貢献し、環境にやさしい物流に取り組みます

**全農物流株式会社**

九州支店 〒841-0046 鳥栖市真木町 1661-1

TEL 0942-83-2200

宮崎営業所 〒880-0805 宮崎市橘通東 2-5-7 宇田第8ビル 4F

TEL 0985-44-3031





# 謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました。  
本年もよろしくお願いいたします。

NTP  
第8位  
+3,195



・高乳量かつ優れた乳成分で  
稼げる1頭！  
・繁殖性＆在群能力も高い

JP5H60485

**ハスキー キフユ** A2/A2

ハスキー×アルタモントーヤ×プロフィット

産乳成分 +352 長命連産効果 +116,610円(2位)

乳代効果 +170,797円(8位) Milk +1,336kg(8位)

Fat +70kg SNF +111kg Pro +46kg(10位)

決定得点 +0.67 肢蹄 +0.01 乳器 +0.92

在群能力 +2.77(4位) 泌乳持続性 +1.41

疾病抵抗性指数 +1.13(5位)

適正交配：パリス、ブーティー、コンシエルジュ、JCスター等

GNT  
第32位  
+3,371



・ヤングサイア No.1の肢蹄改良  
・暑熱耐性＆繁殖性の良さが  
魅力的な種雄牛！

JP2H61278

**ジョイアス** A2/A2

ロードマン×アルタローソン×マジツクタツチ

産乳成分 +383 長命連産効果 +122,109円

乳代効果 +120,778円 Milk +782kg

Fat +64kg SNF +99kg Pro +55kg

決定得点 +1.09(2位) 肢蹄 +0.91(1位) 暑熱耐性 +0.86(9位)

在群能力 +2.88 泌乳持続性 +0.80 乳器 +1.36(6位)

空胎日数 124日(8位)

適正交配：ロック、ハウル、JCスター等

※ブーティーを避ければ幅広く交配可能

## ① 気高系種雄牛 No.1 !

### ② 質量兼備の特徴を持つ !

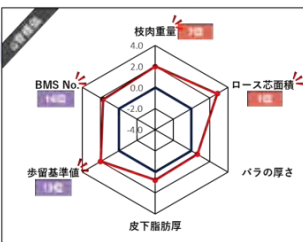
### ③ F1枝肉の成績も良好

### ④ 日齢枝肉重量0.084と発育良好

P黒1188

**和華久**

若百合×安福久×勝忠平



## ① 欠点の少ないバランス型種雄牛

### ② 未経産交配にも推奨 !

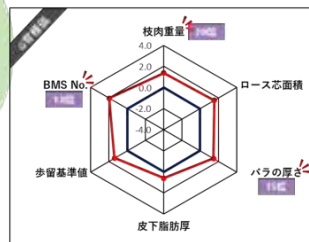
(平均サイズの生れ落ち)

## ③ F1におすすめ !

P黒1163

**峰勝姫**

福之姫×勝忠平×安福久





牛用ビタミン・ミネラル配合飼料 (A型)

# スマイルマイグレーション

smile Migration

アミノ酸 ビタミン ミネラル の力で

## 生産性向上を飼料からサポート

和牛繁殖 (採卵・精液採取) & 乳用牛の乳量

### 成績向上サポート

ドナー牛 (受胎率向上) への給与結果

項目	11個/頭	21個/頭
正産数	5頭/頭	14頭/頭
正産率	40%	65%

スマイルマイグレーション給与と無産数母牛 (母牛の乳量)

項目	11個/頭	21個/頭
正産数	5頭/頭	14頭/頭
正産率	40%	65%

ORION

# 2026 年 謹賀新年

西日本オリオン株式会社

本社 福岡県福岡市博多区上牟田 1-13-14  
TEL : 092-477-8480

宮崎営業所 宮崎県都城市都北町 6409-1  
TEL : 0986-36-6374

# 謹賀新年

旧年中はお世話になりました  
本年もよろしくお願い申し上げます

## 仔牛用人工呼吸器キット



乳牛・和牛  
どちらでも使用可能！  
個体の大きさに  
SmallかLargeを  
お選びください。



株式会社 野澤組

〒862-0954 熊本市中央区神水2丁目10-7 光永ビル403

TEL : 096-381-3914 E-mail : kyushu-livestock@nosawa.co.jp

～謹賀新年～

ZENRAKUREN 

初乳粉末製品 全酪連の牛用混合飼料

# GOOD START

PREMIUM

グッドスタート プレミアム 内容量 250g/袋

免疫グロブリン  
70g/袋以上  
含有

和牛  
にも!

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な 初乳粉末	中鎖脂肪酸	ビタミン ミネラル	乳酸菌 ビフィズス菌	全卵粉末
-------------	-------	--------------	---------------	------



全国酪農業協同組合連合会



# 謹賀新年 ～全農系代用乳ラインナップのご紹介～

## ハイショの ミルク



生まれたばかりの子牛の免疫強化にお使いいただける、系統の初乳代用乳です！

- 免疫移行の理想ラインを超えるよう、グロブリン80g/袋を含有しています
- 苦み・渋みを抑え、より自然なミルクの香りに近づけました
- 抜群の溶けやすさを実現しました

保証成分：粗たん白質28.0%以上 粗脂肪50.0%以上 TDN95.0%以上  
荷 姿：250g × 8袋/箱

## ミルダッシュ



子牛の増体能力を最大限に引き出し、かつ健康に育てたい方への高たん白質の代用乳です！

- 乳由来原料を使用し、消化吸収に優れています
- 人工乳や乾草の摂取量が増えるので、スムーズに離乳が行えます
- 自動ほ乳装置との相性も抜群です

保証成分：粗たん白質28.0%以上 粗脂肪18.0%以上 TDN105.0%以上  
荷 姿：10kg袋／20kg袋

## ミルスター



効果的に栄養補給を行うことのできる高エネルギー代用乳です！

- 「ネオドリンク」でお馴染みの中鎖脂肪酸を強化しました
- 十分なエネルギー補給ができ、子牛の損耗防止にお使いいただけます
- 人工乳の摂取を抑制せず、スムーズに離乳が行えます

保証成分：粗たん白質26.0%以上 粗脂肪25.0%以上 TDN116.0%以上  
荷 姿：20kg袋

お問い合わせは、もよりのJAまで

農協

全農